

神奈川大学派遣交換留学生 近況報告書（初回）

所属	経営学部	国際経営	学科 専攻
派遣先大学 (国)	フルトヴァンゲン大学 (ドイツ)		
所属プログラム・ 学部・研究科	International Business Management		
報告書提出日	2019年3月21日		
留学予定期間	2019年3月～2020年2月		

1. 渡航について

1.1. 出発前の準備

出願料・宿舍デポジット： 800 (ユーロ) /合計

航空券代： 169,970 (円) /合計

ビザ申請関連費： 1001 (ユーロ) /合計

その他 ()： (通貨入力) /合計

ビザ取得の際に残高証明書は必要でしたか？ はい いいえ

「はい」の場合、いくらの残高証明書を作成しましたか？ 8640 (ユーロ) /合計

奨学金の英文証明書があればよい

10月上旬 別のドイツの大学に留学していた先輩を紹介され、情報をもらう。

10月下旬 派遣先大学入学書類提出（オンラインで情報登録など）

11月中旬 派遣先大学から VISA、寮、現地についての重要書類が送られてくる。

12月上旬 重要書類に目を通し、サインをして提出した。受け入れ許可証を受け取る。宿舍の申込書類提出する。

12月中旬 航空券予約。携帯を SIM フリーにする。キャッシュパスポートを作る。

1月下旬 宿舍が決まる。

2月中旬 日本のアパート解約・荷造り（一人暮らしだったため）

その他 派遣先大学から日本に来ていた交換留学生（キャンパスは異なるが）に生活や授業など現地の情報をもらう。予防接種は留学のためには特にしなかった。

ネットを見ても大学や現地の情報が少なく、直前まで心配だった。ドイツの大学からの返信が遅いときもあったが、心配しすぎる必要はない。

1.2. 渡航について

羽田空港→フランクフルト空港で乗り換え→シュトゥットガルト空港

バスで行く予定だったが、シュトゥットガルト空港からはバディが迎えに来てくれた。

ほかの留学生は、Flixbus（電車より安い）または電車を利用して来ていた。Flixbus は Stuttgart Airport から Villingen-Schwenningen まで（Stuttgart Kirchheim は異なる場所なのでチェックボックスのチェックは外す）約 2 時間半かかり 5 ユーロで行ける。

シュヴェニンゲン駅から宿舎まで student assistant が迎えに来てくれ、宿舎（徒歩 10 分弱くらいの場所だった）の使い方など教えてくれた。

2. 到着後の手続きについて

2.1. 寮・ホームステイ等への入居手続き

宿舎に入るための注意事項を確認し、サインをした。

2 週間後くらいに、1 か月分の賃貸料（400 ユーロ）とデポジット（400 ユーロ）を現金で渡した。（現金のみ。他にも宿舎以外での手続きで現金が必要なことが多い。現金を下ろせないこともあるので、ある程度日本から持ってきた方が良いと思う。）

毎月、銀行口座から引き落とし。（5 日）

部屋は、トイレ・シャワー・キッチン・ベットなどの設備があった。エントランスから入るときにカギをかざさないと入れないので、セキュリティーの面では安心だった。

宿舎に申し込むときにしっかり要望を書いたほうが良いと思う。金額だけ記入すると大学からとても遠い宿舎になってしまう可能性がある（ほかの留学生がそうだった）。

調理器具やベットカバー、タオルなど何もなかった。1 人部屋だったためそろえるものが多かった。

ドイツの家庭に 1 日ホームステイできるプログラムがあるので申し込んだ。

2.2. 滞在許可・外国人登録の手続き

住所登録は、オリエンテーション期間に留学生全員で市役所へ行く。パスポートと家主のサインがある書類を市役所職員に渡し、「結婚しているか、出生はどこか」など英語で聞かれた。

大使館では、身長、目の色など聞かれた。パスポート、保険、住民票、パスポートサイズの写真などが必要だった。奨学金のみだと一年間滞在するのに必要な金額（8640 ユーロ）に達さないで、閉鎖口座を作り（student assistant が手伝ってくれた）そこにお金（奨学金 7655 ユーロで残りの足りない分 985 ユーロ）を振り込み、後日その証明書をメールで送った。閉鎖口座を作るとき 1 ユーロ必要。日本で閉鎖口座を作ってから来るのもよいと思う。2, 3 週間ほどしてビザが届く予定。

2.3. オリエンテーション・学生登録・プレイスメントテスト等の学内手続き

3/5 オリエンテーション：大学のパンフレット、住所登録、緊急連絡先、授業についてなどの書類をもらう。その冊子に日程がかかれているので確認する。また、変更になることもよくあるので自分でしっかりメールなど確認する。

3/6 ドイツの保険加入の案内があった。日本海外旅行保険に入っていたが、ドイツの保険も加入する必要があった。月に 93 ユーロ。

3/7 ドイツ語 9 日間集中講座が日曜を除いてほぼ毎日 4 時間ほど授業が始まる。最終日にパソコンでテストを行い、その点数でクラスを振り分けられる。パソコンは持ってきた方がよい。

3/19 学生証の発行

3/26 歓迎会

3. 目標について

3.1. 留学の目的、達成目標

英語を使って専門的な科目を学び、TOEIC700 点を目指す。また、ドイツ語で日常会話程度は話せるようになる。ドイツだけでなく、EU の国々の世界遺産や歴史的な建物を実際に巡りたい。

3.2. これまでの学習・研修目標および達成度について

留学が決まる前から、KU TOP ENGLISH や自主プログラムを受講し毎日英語に触れるようにしたが、現地についてみると多くの人が第 2 言語であるにもかかわらず、ネイティブのように話す人が多かった。そのため、よりリスニング力を伸ばせるように積極的に話しかけていきたい。また、ドイツ語は独学で行っており、あいさつや自己紹介程度しかできなかったもので、日常会話程度は理解できるように授業以外の買い物などの際に積極的に使っていきたい。

3.3. 今月の学習・研修目標

グループ活動がある授業が多いので、聞くだけではなく必ず発言し自分の意見を言えるようになる。一人でも多くの人とコミュニケーションをとる。(笑っているだけでなく)

4. 学修について

4.1. 授業時間割

現在の学期	前学期
月	
火	Managing Cultural Diversity(MCD) 9:30~12:45(おおよそ 2 週間に 1 回)
水	Regional analysis and international competitiveness China 7:45~9:15 Strategic Management 9:30~11:00 DaF2 Deutsch 14:00~17:15
木	Regional analysis and international competitiveness Germany&EU 11:15~12:45 Global Mobility 15:45~17:15
金	Advanced Negotiation Skills 7:45~9:15 Social Media & Online Marketing 9:30~17:15 (3/27, 5/17)
土	Social Media & Online Marketing 9:30~17:15 (3/30, 5/18)
日	

4.2. 授業について

*MCD 概要:グループワークやケーススタディを通して各国の多様な文化を理解する。内容:最初のグループはランダムだったが、プレゼンで成績を評価されるため教授がグループとテーマ(プラスチック問題、内部告発など)を割り当て 2 回目以降からはそのグループで活動した。進度:普通。理解度:教授は少し早口なので時々理解できない時がある。

*Regional analysis and international competitiveness China 概要:中国の経済や文化などを学ぶ講義形式。内容:教授の経験したことなども織り交ぜながら毎回トピック(中国の観光客、中華街、会社など)について学ぶ。時には日本や台湾、シンガポールなどアジア全般についての講義もある。

進度：普通。理解度:教授はなまりがあるが、ゆっくり丁寧に話すので理解しやすい。

* **Strategic Management** ケーススタディを通してグループで SWOT 分析、マイケル・ポーターの 5 Forces 分析（授業で毎回学ぶ）などを使い分析する。進度:普通。理解度:2 回の授業で 1 つのケーススタディを行い、教授の話すスピードもゆっくりなので理解しやすい。（Regional analysis and international competitiveness China と同じ教授）

* **DaF2 Deutsch** 概要:ドイツ語の文法を学ぶ。内容:教科書に沿ってドイツ語を学ぶ。教授が順番に学生を指名して文章を読んだり、質問に答えたりする。進度:比較的速め。理解度:授業中は友達や先生に聞きながらなんとか理解をしている。

* **Regional analysis and international competitiveness Germany&EU** 概要:EU やドイツの経済について学ぶ。内容:プレゼンで評価され、毎授業 1,2 組プレゼン（ドイツの年金問題、留学生についてなど教授が提示したトピックを選ぶ）をペアで行い、それについて教授が補足する。時には教授の講義のみの時もある。進度:普通。理解度:理解しやすい。（Regional analysis and international competitiveness China と同じ教授）

* **Global Mobility** 概要:国境を越えて働く人に焦点をあて、その働き方や割り当ての仕方などグローバルモビリティについて理解を深めていく講義形式。内容:それぞれの働き方ごとのメリットとデメリットをあげていったり、各国の移民問題、VISA 問題についてなども学ぶ。ときどき、ディスカッションがある。進度:割と速め。理解度:教授の話をしっかり聞いていないと理解できなくなる。また、難しい単語があるので講義中に調べていかないとついていけない。難しい。

* **Advanced Negotiation Skills** 概要:効果的な交渉の仕方や種類について理解を深める講義形式。内容:買い手と売り手、それぞれの立場から交渉の戦術を学んだり、交渉についての動画を見て問題点を指摘したりする。進度:普通。理解度:専門用語が多いので難しい。

* **Social Media & Online Marketing 9:30~17:15** 概要:ソーシャルメディアを使い、グループでマーケティングを実際に行う。内容:動画の取り方、編集の仕方、ソーシャルメディアの特徴などを学んだあとに、Instagram、Facebook、YouTube のグループに分かれ、グループごとに教授から与えられた課題に取り組み、プレゼンを行う。速度:普通。理解度:普通。

4.3. 予習・復習・自習について

* **MCD** 予習:ケーススタディを読む。プレゼン（内部発表がトピック）のための資料集め。復習:授業後にパワポがアップするので分からない単語を調べる。自習:課題図書を読む。

* **Regional analysis and international competitiveness China** 予習:パワポに目を通す。（ほぼグラフや写真だから。）復習:特にしない。自習:レポートの構成、資料集め。

* **Strategic Management** 予習:パワポ、ケーススタディを読む。復習:授業内容を見直す。自習:レポートの資料集め、経営分析を覚える。

* **DaF2 Deutsch** 予習:特にしない。（教科書通りではないから）復習:ノートを見直ししながらオンラインの宿題を行う。自習:簡単な本を読んだり、単語を暗記したりする。

* **Regional analysis and international competitiveness Germany&EU** 予習:パワポに目を通す。（グラフや写真のみだから）復習:特にしない。自習:自分のトピック(ドイツの留学生について)の資料集め、ペアと話し合う。

* **Global Mobility** 予習:前回の授業を見直す。復習:授業後にパワポがアップされるので分からない単語を調べる。自習:特にしない。

* **Advanced Negotiation Skills** 予習:わからない単語を調べる。復習:授業内容を見直す。自習:特にし

ない。

*Social Media & Online Marketing 授業は学期中に 4 回しかないが、毎週グループで話し合いを行い、課題に取り組んでいる。プレゼンの原稿を作ったり、動画を撮ったりしている。

5. 生活について

5.1. 衣食住について

住居	学外寮（その他： ）
<p>気候：3月でも雪が降ったり急に雨が降ったり気候の変化が激しく、変化に対応できるようダウンの下はあまり厚着をせず、調整した。</p> <p>食事：パン・パスタが多い。料理をする際にさい箸とだしがあると便利。</p> <p>クレジットカード：クレジットカード機能があるカードを3枚持ってきたが、主に使おうと思っていたVISAカードが使える店と使えない店があった。使えたとしても何回かやり直すことが多かった。日本では使えたのに、理由がわからなかったのでクレジット会社に問い合わせしたが、解決しなかった。おそらく、ICチップ付きではないクレジットカードなので使える店と使えない店があったのだと推測する。ICチップ付きのカードはどこでも使えた。磁気カードでなく、ICチップ付きカードに変更してくるべきだった。</p> <p>SIM：現地のALDIというスーパーでSIMカードを購入した。</p> <p>買い物：近くにスーパーマーケット、ショッピングモールがあるので必要なものはそろいが、日曜日が定休日なのは驚いた。（レストランなどは除く）ティッシュやウェットティッシュなどをたくさん持ってきたがそんなに必要なかった。</p>	

5.2. 課外活動について

休日は、友人に日本食をふるまったり反対に出身国の料理をふるまってもらったりした。また、レストランや買い物などした。週末には日帰り旅行を大学が提供している。

5.3. 現在までの感想

日本人が自分一人しかいないので他の留学生に聞いたり先生や国際センターの人の説明を受けたりしてもしっかり自分で理解し把握していないと手続きや履修を組むときとても難しかった。ある程度英語は理解できと思っていたが、自分で理解しきれない部分が多くありとても悔しく、さまざまなことに対して理解が不十分ではないか、間違っって認識しているのではないかなどやることやることあっているのかよくわからず不安である。ほぼ毎日パンやパスタなのでとてもお米が食べたい。しかし米は売っているがタイ米が多く、米を買ってみたが炊飯器がないので鍋で炊いたらうまくふっくらしなくて難しかった。またベジタリアンが多いので大体のレストランのメニューにはベジタリアン料理が書かれている。大体中国人に間違えられる。ドイツに来てから日本人に未だ会ったことがない。

以上

神奈川大学派遣交換留学生 近況報告書（5月）

所属	経営学部	国際経営	学科 専攻
派遣先大学 (国)	フルトヴァンゲン大学 (ドイツ)		
所属プログラム・ 学部・研究科	Internation business management		
報告書提出日	2019年5月 19日		

1. 目標について

1.1. 留学の目的、達成目標

英語を使って専門的な科目を学び、TOEIC700点を目指す。また、ドイツ語で日常会話程度は話せるようになる。ドイツだけでなく、EUの国々の世界遺産や歴史的な建物を実際に巡りたい。

1.2. 先月の学習・研修目標および達成度について

グループ活動がある授業が多いので、聞くだけではなく必ず発言し自分の意見を言えるようになる。一人でも多くの人とコミュニケーションをとる。（笑っているだけでなく）という目標に対して60%くらい達成できた。少なくとも必ず何回かは発言できた。また、笑っているだけではなく、自分から積極的に声をかけたり質問したりした。

1.3. 今月の学習・研修目標

英語のプレゼンテーションをアイコンタクト、姿勢など意識しながら堂々と話す。ビジネス英語で書かれているドイツの経営の本を1冊読み切る。
ドイツのオンラインテストで7割以上を目指す。

2. 学修について

2.1. 授業について

*MCD 概要:グループワークやケーススタディを通して各国の多様な文化を理解する。内容:私たちのグループのトピックである内部告発について Hart aber fair というドイツのテレビ番組のようにそれぞれ役割を決め、ディスカッションをする。（私の役割は日本の政治家）進捗:普通。理解度:教授は少し早口なので時々理解できない時があるが、前よりは徐々に理解できるようになってきた。

*Regional analysis and international competitiveness China（キャンパスデーや教授の予定で特に授業は進んでいない。）概要:中国の経済や文化など学ぶ講義形式。内容:進捗:普通。理解度:教授はなまりがあるが、ゆっくり丁寧に話すので理解しやすい。

*Strategic Management（キャンパスデーや教授の予定で特に授業は進んでいない）ケーススタディを通してグループでSWOT分析、マイケル・ポーターの5 Forces分析（授業で毎回学ぶ）などを使い

分析する。進度:普通。理解度:2回の授業で1つのケーススタディを行い、教授の話すスピードもゆっくりなので理解しやすい。(Regional analysis and international competitiveness Chinaと同じ教授)

*DaF2 Deutsch 概要:ドイツ語の文法を学ぶ。内容:教科書に沿ってドイツ語を学ぶ。教授は順番に学生を指名して文章を読んだり、質問に答えたりする。進度:比較的速め。理解度:最近、難しく授業内だけでは理解できず、宿題をやって少し理解できる。

*Regional analysis and international competitiveness Germany&EU 概要:EUやドイツの経済について学ぶ。内容:プレゼンで評価され、毎授業1,2組プレゼン(ドイツの年金問題、留学生についてなど教授が提示したトピックを選ぶ)をペアで行い、それについて教授が補足する。先月はドイツの保険制度やイギリスの経済や問題などについて学んだ。時には教授の講義のみの時もある。進度:普通。理解度:理解しやすい。(Regional analysis and international competitiveness Chinaと同じ教授)

*Global Mobility 概要:国境を越えて働く人に焦点をあて、その働き方や割り当ての仕方などグローバルモビリティについて理解を深めていく講義形式。内容:ホームシック、カルチャーショックなど海外赴任のその後についてやTCKsについて学んだ。また、ローカライゼーションのメリットとデメリットも学んだ。進度:割と速め。理解度:教授の話をしっかり聞いていないと理解できなくなる。また、難しい単語があるので講義中に調べていかないとついていけない。

*Advanced Negotiation Skills 概要:効果的な交渉の仕方や種類について理解を深める講義形式。内容:買い手と売り手、それぞれの立場から交渉の戦術を学んだり、交渉についての動画を見て問題点を指摘、意見を述べたりする。さらに2週間に1回くらい追加で授業を行い、ロールプレイを行う。進度:普通。理解度:専門用語が多いので難しい。

*Social Media & Online Marketing 9:30~17:15 概要:ソーシャルメディアを使い、グループでマーケティングを実際に行う。内容:Facebookのグループになり、グループのメンバーの知人のオンラインマーケティングを行っている人の協力のもと、その製品をプロモーションするためにキャンバス広告を実際に作ったりビデオを作成したりした。また、教授が与えた4Pやコンセプトなども決めながら行った。プレゼンは1グループ45分で行った。プレゼンでは、キャンバス広告とは何か、どうやって作るのかなど発表した(自分の担当)。速度:普通。理解度:普通。

2.2. 予習・復習・自習について

*MCD 予習:原稿づくり。週に1回授業外でミーティングを行い、プレゼンについて話し合ったり、練習したりしている。復習:授業後にパワポがアップするので分からない単語を調べる。自習:課題図書を読む。

*Regional analysis and international competitiveness China 予習:パワポに目を通す。(ほぼグラフや写真だから。)復習:特にしない。自習:構成を考えたので、来週から書き始める予定。

*Strategic Management 予習:パワポ、ケーススタディを読む。復習:授業内容を見直す。自習:レポートの資料集め。

*DaF2 Deutsch 予習:予習部分の宿題をやる。(教科書通りではないから)復習:ノートを見直しながらオンラインの宿題を行う。自習:文法書を買ったのでその問題を解いている。

*Regional analysis and international competitiveness Germany&EU 予習:パワポに目を通す。(グラフや写真のみだから)復習:特にしない。自習:自分のトピック(ドイツの留学生について)の資料集め、毎週ペアと話し合いを行っている。また、ほかの留学生に協力をしてもらい、動画を撮影しプレゼンで使用する予定。

*Global Mobility 予習:前回の授業を見直す。復習:授業後にパワポがアップされるので分からない単語

語を調べる。授業後教授に分からないところを聞きにいつている。自習:特にしない。

*Advanced Negotiation Skills 予習:わからない単語を調べる。復習:授業内容を見直す。自習:特にしない。

*Social Media & Online Marketing 授業は学期中に4回しかないが、毎週グループで話し合いを行い、プレゼンの練習をしたりパワポを作成したりした。無事にプレゼンは終わった(5/18)。

2.3. 語学力について

英語:当初よりは英語を聞き取れるようになり、読むスピードも速くなったと思う。しかし、ディスカッションの場で少しは意見を言えるようになったが、言えないときもありスピーキング力は伸びている気がしない。以前まではわからないことがあっても自分だけでなんとかしなくてはと思い、人に確認する回数は少なかった。しかし、最近は分からないことや疑問に思ったことがあれば自分からどんどん聞き、自分のもやもやをなくせるようにしている。そのおかげか知り合いや友達も増えた。

ドイツ語:レストランでの注文から会計や簡単な自己紹介程度はできるようになった。授業が難しく、日本から持ってきたドイツ語の参考書が基礎の基礎だったので、改めて参考書をネットで購入し取り組む予定。

3. 生活について

3.1. 衣食住について

住居	学外寮(その他:)
----	------------

衣:日本から持ってきた洋服を着ている。都市部へ行ったときなど夏服を購入している。

食:アジアスーパーで日本の調味料を購入したので日本食を作ったり、時間がないときはパンなど簡単なもので済ませたりしている。炊飯器を買ったが、1週間以上たっても届かない。おそらく日本からEU圏内に炊飯器などの電化製品をインターネットで購入すると通関で止められる可能性が高くなり、一般的な荷物より届くまでに時間がかかっているのだろう。ドイツの料理(学食など)は味が濃い。

住:基本的には住みやすいが、部屋のブラインドが壊れたので修理を頼んだにもかかわらず、予定通りの時間には来ず、未だ修理に来ない。

3.2. 課外活動について

友達とごはんを食べに行ったり、旅行の計画を立てたりしている。また、ときどきバディの家族が家に招待してくれごはんを一緒に食べたり、バディとその友人と初めての室内のクライミングをしたりしている。さらにカヌーツアーに申し込み、初めてカヌーをし、テントで1泊した。新しい人たちとの出会いや自然の偉大さを感じとても貴重な体験ができた。

3.3. 現在までの感想

英語、ドイツ語ともすぐに結果が出るわけではないが、うまく話せず、聞き取れないことが多いのでこのままの学習の仕方ではよいのかよく分からない。最近、ほぼ毎日自炊をするようになり、レパートリーが増えた。食生活の乱れは解決しつつあるが、睡眠時間が短いので改善していきたい。日本以上にさまざまな国籍、考え方を持っている人がおり、いろんな人と関わることによって刺激を受け、新たな見方や考え方を発見する一方で少し変な人もいたので最初は一定の距離を保ち少しずつ相手のことを理解して徐々に仲良くするべき人もいるのだと日本にいるとき以上に痛感する出来事が身近に多かった。どの国

でも相手を思いやる気持ちは忘れてはいけなかつく感じた。

また、日本で行っていた英語のプレゼン以上に内容が難しく、行う機会が増え自分が全然うまくできな
いと悲しくなつたが、残りのプレゼンはうまくできるように頑張りたい。

以上

神奈川大学派遣交換留学生 近況報告書 (11 月)

所属	経営学部	国際経営	学科 専攻
派遣先大学 (国)	フルトヴァンゲン大学 (ドイツ)		
所属プログラム・ 学部・研究科	International Bussiness Managemenet		
報告書提出日	2019 年 11 月 19 日		

1. 目標について

1.1. 留学の目的、達成目標

英語を使って専門的な科目を学び、TOEIC700 点を目指す。また、ドイツ語で日常会話程度は話せるようになる。ドイツだけでなく、EU の国々の世界遺産や歴史的な建物を実際に巡りたい。

1.2. 先月の学習・研修目標および達成度について

英語、ドイツ語ともに参考書を使って学習した。英語では忘れていた基礎的なことを思い出せた。ドイツ語では、授業の際に前期よりも理解度が高くなったので授業と参考書を並行して学習していきたい。自己分析を行いつつ、マイナビの WEB セミナーなどを活用して就活の準備を少しずつ行っている。

1.3. 今月の学習・研修目標

ドイツのオンラインテスト I で 85%以上をとる。ドイツで経験してきたことや驚いた文化の違いなどを振り返り、まとめる。英語、ドイツ語ともに参考書を使用し学習する時間を最低でも週 5 に増やし、習慣づける。

2. 学修について

2.1. 授業時間割

現在の学期	後学期
月	Differential Psychology (15:45~17:15)
火	
水	Technical English (15:45~17:15)
木	Politics, Society and Culture: Germany and EU (14:00~15:30)
金	DaF A2 (11:00~14:30)
土	
日	

2.2. 授業について

* **Differential Psychology** 概要: 差異心理学(Differential Psychology)についてさまざまな側面から学ぶ。内容: 性格(Personality), 知能(Intelligence), 好み(Preference)の3つの概念を軸に社会(会社経営、男女平等など)と関連付けながら学んだ。また、実際にパーソナルテストにできるような質問をグループごとに考え、ほかのグループの考えた質問を社会的に適切か何パーセントが「はい」と答えるかなどを予想しながら話し合った。進捗: 普通。理解度: やや難しい。(専門的な単語が多いため。)

* **Technical English** 概要: 専門的な技術英語や文法、表現の仕方などを学ぶ。内容: 英語システム、救助の際の送信方法、プラスチック容器などを製造する際のプラスチックのパレットを溶かし、型に入れるなどの製造過程を学んだ。その際、have+過去分詞、過去形の違いなどの文法を学び(英語で英語を学ぶので疑問に思っていたことなどの説明を聞くと日本の授業では説明されなかったような新しい発想や表現を学ぶことができる。)、ペアになり文章を作って会話した。進捗: 普通。理解度: 普通。

* **Politics, Society and Culture: Germany and EU** 概要: ドイツやEUのことを政治、社会、文化の面から学ぶ。内容: 文学、哲学、アート、音楽など歴史的背景をふまえながらドイツやEUの国々について学んだ。特にギリシャについての歴史的背景からの建築物の特徴、現在のギリシャの様子(教授がギリシャに何回も訪れているので詳しい。)など話は興味深かった。進捗: やや遅め。理解度: 理解しやすい。

* **DaF A2** 概要: ドイツ語の文法や表現について学ぶ。内容: 教科書に沿って、ペアになり質問し合ったり、会話をしたり前期よりも実践的な授業である。最近では、接続詞(weil, aber, dass など)や主語の2格について学んだ。進捗: 普通。理解度: 普通。

2.3. 予習・復習・自習について

* **Differential Psychology** 予習: 特になし 復習: 分からなかった単語を調べる。自習: グループで行うプレゼントピックを考える。

* **Technical English** 予習: 次のトピックの分からない単語や文章に目を通す。復習: オンラインの宿題を行う。自習: 参考書を用い、学習。

* **Politics, Society and Culture: Germany and EU** 予習: 特になし。復習: 分からなかった単語や興味があったトピックを詳しく調べる。自習: レポートの内容を考える。

* **DaF A2** 予習: 特になし。復習: オンラインの宿題を行う。自習: 参考書を用い、学習。

2.4. 語学力について

英語: 以前より知識が増え、さまざまなトピック(歴史、行事、宗教など)について会話できるようになった。基礎文法の復習ができたことにより、英語表現の幅が広がった。

ドイツ語: 授業と並行して参考書を用いることによって読みは以前よりできるようになった。友人とドイツ語で話す時間をもうけてもらい、話す、聞くの練習をしている。やはりリスニングは何を言っているかわからないときの方が多いため難しい。

3. 生活について

3.1. 衣食住について

住居	学外寮(その他:)
----	------------

ほぼ毎日自炊をするようになり、作れるレシピが増えた。自炊を頻繁にすることによって、日本とドイツの野菜の違い(硬さ、味など)を実感し、調理の仕方を変えたり味付けを薄くしたりとアレンジした。

保険料が 10 ユーロほど値上がりし 105 ユーロになった。

風邪を頻繁にひき、薬（日本から持参した）を飲みすぎているので友人に相談したところ Husten-und Bronchial Tee というお茶を勧めてもらった。それを飲んだところ 2, 3 日でのどのやせきなどの症状が和らいだ。(11月の気温はおおよそ朝晩は 2, 3 度、昼間は 5~7 度)

3.2. 課外活動について

ISC(International Student Community)というサークルに入り、イベントを計画し、実行したり、留学生、ドイツ人学生と交流したりと新たな刺激をもらえている。休日は友人に会いに、ドイツの別の町に行ったり、食事をしたりした。友人宅でキャロットケーキを一緒に作った。

3.3. 現在までの感想

先月、今月は季節の変わり目で急に寒くなり 2 回ほど風邪をひいてしまったので計画通りにいかない部分が多かった。それをふまえ、睡眠、食事、運動の 3 つは大切だと改めて感じた。自炊をすることが前期よりも増え、日本の飲食店、家族のありがたみを感じた。残り約 3 か月ほどで留学が終わってしまうので一つ一つのことを丁寧にやりぬいていきたい。

以上